

## 令和7年度第2回飛騨・世界生活文化センター評価員会議 議事録

○日 時：令和8年3月27日（金） 13：30～15：00

○場 所：食遊館3階 特別会議室

○出席者：

### 【評価員】

岩塚久案子、沖畑康子、河渡正暁、布目美智男、丸山千絵、山田雅彦

### 【指定管理者】

センター長 野尻修二、副センター長 大萱真紀人、統括 六角裕治

### 【岐阜県（文化創造課）】

文化創造課長 大口英徳、文化施設係長、文化施設係担当

### 【評価員会議 議事録（質疑応答・意見）】

#### ○令和7年度第3四半期までの指定管理業務報告について

<評価員>

・芸術堂の稼働率は30.7%とのことだが、土日はほぼ埋まっているという話を聞き、平日に芸術堂の利用がないことは皆さんお分かりのことと思うが、そうすると土日にそれだけの利用があって活躍してくれているということで、本当にいい会場だと思う。

・先日、他施設の方から伺った話で、「飛騨センターの施設管理は本当に素晴らしい。このように管理できる場所は県内でも他にない。」ということだった。そのあたりのご努力、ご自身で修繕をしていける知識やノウハウを持っていることは素晴らしいことなので、引き続きお願いしたい。

<評価員>

・飛騨センターは開館から26年目ということで、空調設備、音響、照明など各設備がほぼ更新時期を迎えてきている。高山市民文化会館も44年が経過し、各設備は2回目の周期がきたところか。ちょうど今が設備改修の過渡期であるとすれば、このまま飛騨センターの運営を継続しようとする場合、県の改修工事の予算があるかどうかを教えてください。

<県>

・ちょうど25年ほど経過し、設備が老朽化してくる段階になる。県でも中長期での修繕計画を持っており、今後10年で20億円超の費用が発生する想定である。県の財政が厳しい状況の中で、利用者の安全安心に関わる修繕は必須で行うが、快適な利用に関わるような設備は、耐用年数を超えても使える限りはなるべく使っていく。

<評価員>

・高山市の新文化会館は、先日、プロポーザル募集をしていたが応募者0件であった。そのため、新築工事が遅れることを考慮すると、現在の文化会館をあと10年はもたせなければならなくなるのではと心配している。

・もし今後も、飛騨センターを続けていくとすると、改修工事に優先順位をつけて順番に行っていくしかないと思うが、飛騨センターの場合は面積が広いので、大変な費用がかかると感じている。

## ○令和8年度事業計画について

<評価員>

・小中学生が飛騨センターで音響や照明を学ぶ事業をさせてもらっている。こちらの音響・照明スタッフは本当に良い方で、この事業をきっかけにこの道に進もうという参加者もいたので、令和8年度もこの事業の継続をお願いしたい。

・防災拠点ということで、私も防災士としてここの設備の説明を聞いたり、見させていただいたりという中で、地域の防災拠点として素晴らしい機能を持っていて、例えば障害のある方、ペットのこと、それから乳児あるいは疾病を抱えた方とかのエリア分け、動線などモデルとなるものを備えている。先ほど、来年度もこの機能を引き続きという話もあったが、これほどの防災拠点は飛騨地域にないので、各まちづくり協議会などの防災拠点を学ぶためのノウハウを備えた場所として、あるいは何かあったときの指揮系統系、エリア分けなどを学ぶ場所として、来年度まではという話であったが、引き続き何かの形で継続していただきたい。

<評価員>

・人件費の積算について、昨今、人事院勧告をみても2年連続で増加しているが、指定管理者の方の人件費はベースアップが加味されているか。

<指定管理者>

・大きくはないものの、毎年ベースアップしている。また、清掃のパートの方にも有給休暇や賞与を出すようにしている。

<評価員>

・令和8年度は企画事業費が0円ということで、積算には大変苦勞されたと思うが、「ミュージカル・ジャズダンスコンサート（仮称）」は約600万円で問題なく実施できるということで組まれたものか。

<指定管理者>

・こちらは飛騨センター活用推進協議会事業として実施するもので、記載の金額で実施できると判断して計画したものの。

<評価員>

・オープンカレッジの予算が171万から255万に増額となっているがその要因は。

<指定管理者>

・オープンカレッジ課外講座を実施したいという要望が多く、座学+現地という実施方法のためバス移動があり、バスの借上げ代が高騰していることで増額となった。

<評価員>

・維持管理の委託料が下がっているが対応可能か。

<指定管理者>

・舞台音響や照明、映像の保守を実施しないことで節減するが、万が一故障した場合は、県との負担区分により県または指定管理者で修繕対応を行う。なお、利用者の安全に関わるような維持管理は含まれている。

## ○その他について（飛騨センターの運営見直し状況）

<評価員>

・先日、お電話でもご説明いただいたが、やはり県の発表の仕方は使用してる側からすれば、寝耳に水で驚いた。組織として仕方ない部分はあると思うが、県民ありきの施設なので、地域の方が驚くような方法はどうかと。どちらかといえば閉鎖していくような内容だったので、悲しい思いをした。

・県の財政が厳しいことは重々承知しているが、県が現状のまま維持していくのは財政的に苦しいなど、事前にもう少し対話があれば、使用している側も「それなら次を探そうか。」となったと思われる。

・県が施設を建設するにあたっては、人口の動向であったり、10～20年先の改修経費などを考慮していると思うが、今後はもう少し慎重な建築の仕方というのを考えてもらいたい。やはり地域に新たな建物ができると人が集って、想いもこもってくるので、簡単に廃止できなくなる。

・先ほど説明があったように、より多くの方が活用されるような施設になればというのは切に願っているので、人口は少ない場所ではあるが、県にも大切にしてもらいたい。

<評価員>

・この施設を委託して運営しているというのは、県が直接運営した場合には今よりもっと費

用がかかるというような理由から委託に出したと考える。これまでも綺麗に管理運営をされており、地域にとっても重要な施設になっている。

・少し前に、大垣市民会館が廃止された。今年、大垣でコンベンションを開催しようとしたら、1,000人以上のホールが急に無くなり、羽島市の文化センターや瑞穂市の会場を使用してなんとか開催した。高山市にこれだけの規模の施設があることがもっともっと認知されれば、チャンスはあるかと思うし、強引な形で閉館ということを地元住民に伝えてしまうと、かえってマイナスが大きいと思った。

・県ももう一步踏み込んだ形で、お金の面ではないにしても、行政主体の会議や事業を県が引っ張ってきてもらいたい。これだけの施設は、岐阜市内にも東濃地域にもなく、さらに宿泊施設も多い高山は魅力があると思うので、県のお力を注いでいただきたい。

#### <県>

・施設の見直しは、今後、人口が減少していく中で、県だけでなく市町村においても課題になってくる。その中で、大いに利用されているかどうか、あるいは事業費に占める収入の割合などがシビアに見られてくると思われる。

・飛騨センター活用推進協議会は、県1,000万円と3市1村1,000万円の計2,000万円をかけて、100万円ほどの収入を得ている状況である。この構造でもっと人を呼ぼうとすれば、さらに税金を投入して赤字が増えてしまう。県財政が潤沢にあれば、もっと税金を投入して、さらに賑わうようにということもあるかもしれないが、現状は財政的にも厳しい。

・なるべく民間の方のお知恵をお借りして経費を節減し、可能であれば黒字化となるよう問われているところ。指定管理制度が導入されて、民間の知恵と工夫を活用していこうということで、飛騨コンソーシアムには効率的に管理運営を行っていただき、大変感謝をしている。

・しかしながら、県財政が厳しい中、見直しを行うということになると、利用者数も下がってきており、今後の改修経費も20億円超となると、やはりこれまでどおりの運営形態を継続することは難しい。

・インカレサークルのように、外から大学生の方が飛騨地域に来て活動していただくのは大変意義のあることだと思うが、それはこの施設がなければできないのかというと必ずしもそうではないのではないかと、拠点の機能は必要だとしても、何億円とかけてこの施設を維持していく理由にはならないのではないかとのお話を、事務局でもある飛騨コンソーシアムともさせていただいた。皆様の行われている文化活動が途切れないよう、何らかの形で支援していくというのは今後の議論としてあるかもしれないが、現在の施設利用の実態を踏まえれば、仮にこの施設が利用できなくなったとしても、高山市の文化会館など既存施設でも十分賄えるのではないかと考えている。

・先日、市村との検討会でもお示ししたが、高山自動車短大が立派なホールをお持ちであり、場合によってはそちらも使用させていただけないかということも県から交渉している。

<評価員>

・説明を聞いた中で、このまま施設が閉じられてしまうことはないのかなという期待もありつつ、うまく運ばなかった折にはどうなるのかという心配をしている。この地に大きな廃屋ができて誰のためにもならない。しかし、維持管理に非常に費用がかかることは重々承知している。

・1年後、新たな運営ということで一部の建物だけを使用して、それ以外は使用しないというのも寂しげな感じになってしまい、人もあまり寄ってこなくなる。とはいえ、分割してでもよいが、是非さらなる賑わいが出てくる活用がされることを切に期待する。

<県>

・今回、令和8年度末まで指定管理を延長することとしたが、令和9年度以降の運営方針については、サウンディング型市場調査の結果を見てからになるので、まだ未定である。